

名古屋市 子ども・若者 総合相談センター

子ども・若者育成支援推進法に基づき、
概ね39歳までの子ども・若者を対象とした相談の
ワンストップサービスセンターとして
2013年6月開設

名古屋市子ども・若者総合相談センターは
一般社団法人 草の根ささえあいプロジェクト◆現場支援
特定非営利活動法人 起業支援ネット◆事務局
の2社のコンソーシアムにより運営しています

名古屋市子ども・若者総合相談センターの概要

＜子ども・若者育成支援推進法に基づき、2013年6月開設＞

開所日：月曜～土曜（祝日、年末年始を除く）

本部

（市教育館8階）

 総合受付・
個別相談支援
（0歳～概ね39歳）

受付：10時～17時
（時間は柔軟に対応）

よいそい
サポーター



 個別相談支援
金山事務所
相談時間：10時～17時
（応相談）

オープンスペース *MoiMoi*

OPEN：14時～21時
※ご利用は15歳～概ね39歳



SNS相談

相談時間：17:30～21:30
※ご利用は市内在住の
15歳～概ね39歳とその保護者
市内の高校に在学中の方



若者 シェアガレージ

虐待・貧困により孤立し
様々な困難に直面する
学生等への

アウトリーチ支援

※ご利用は概ね18～25歳の
市内在住・在学の方

2024年4月より

令和6年度 名古屋市子ども・若者総合相談センター実績

◆個別相談

- ・相談者実数：**988**人
- ・延べ相談件数：**8,325**件
- ・訪問支援：**2,443**件(498人)
- ・ケース会議：**987**回

◆連携機関数：

374機関

(延べ機関数 4,632件)

◆もいもい

- ・利用登録者数：**1,818**人
- ・のべ利用者数：**6,128**件

◆LINE相談

- ・相談登録数：**5,029**人
- ・延べ相談件数：**3,050**件

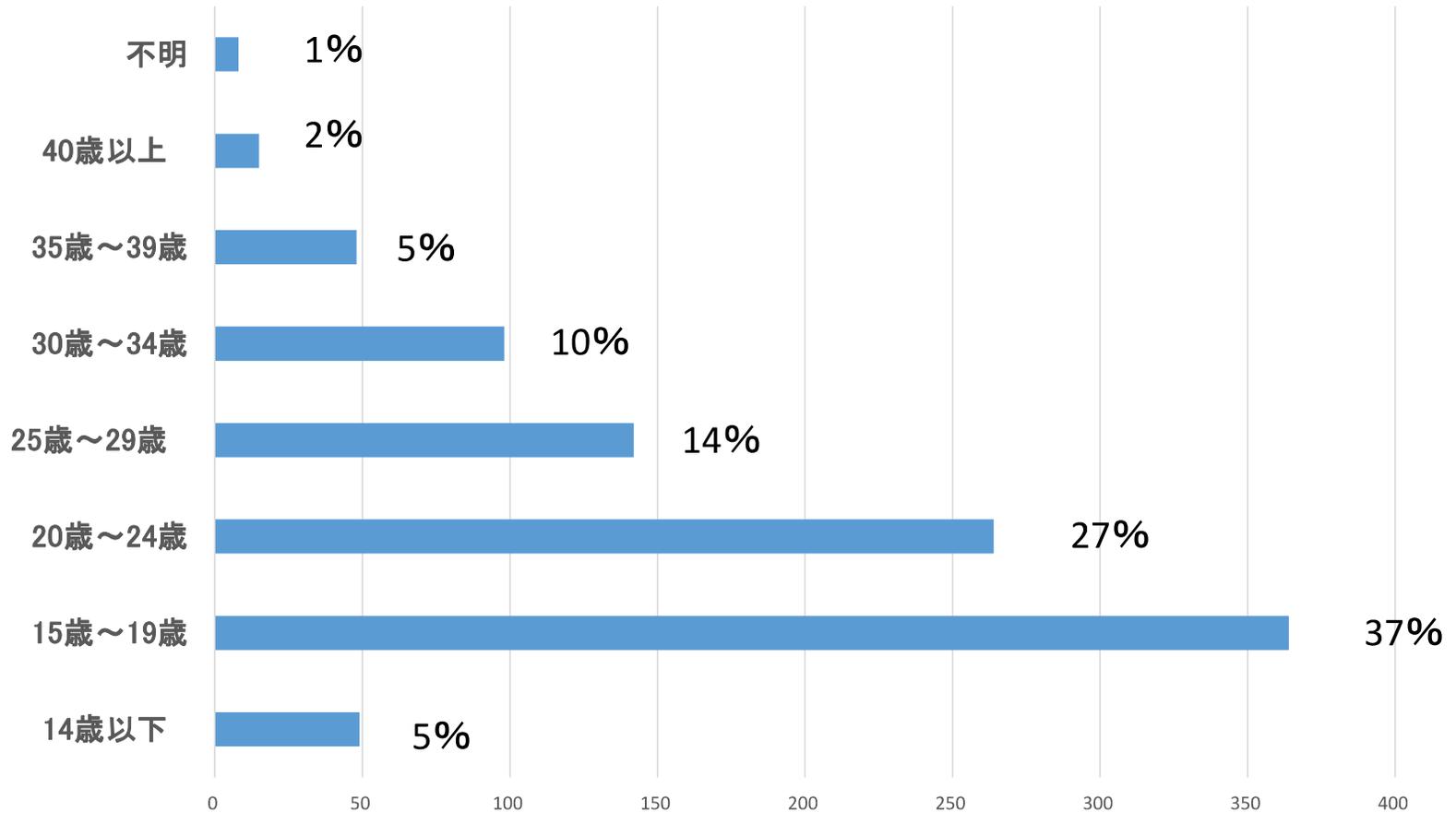
◆よりそいサポーター

(ボランティア)

- ・登録数：**288**名
- ・稼働数：**929**件

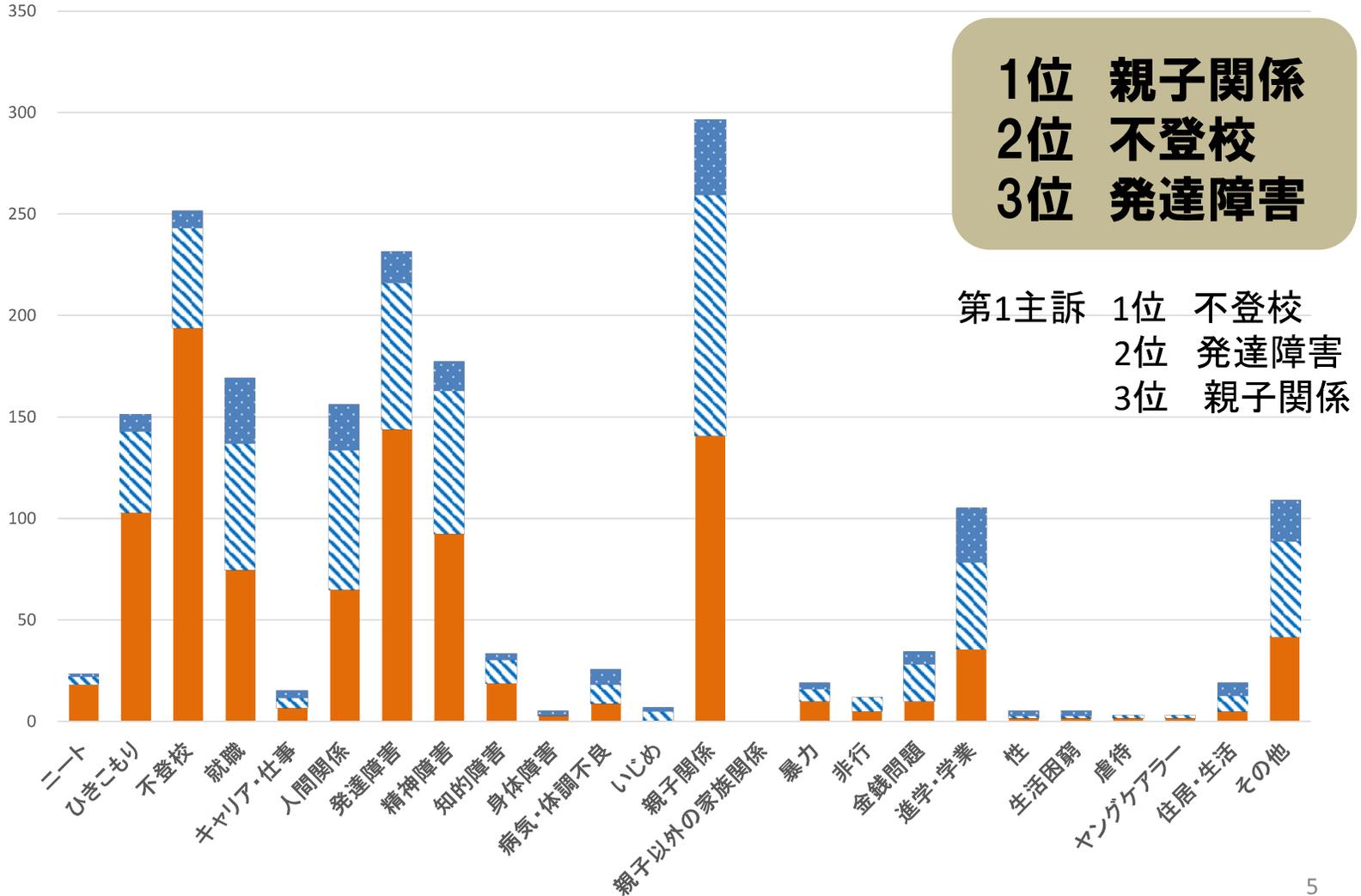
相談対象者の年齢

令和6年度実績



相談の主訴

令和6年度実績



名古屋市子ども・若者総合相談センターの

**3つの特徴
と
3つのチャンネル**

3つの特徴



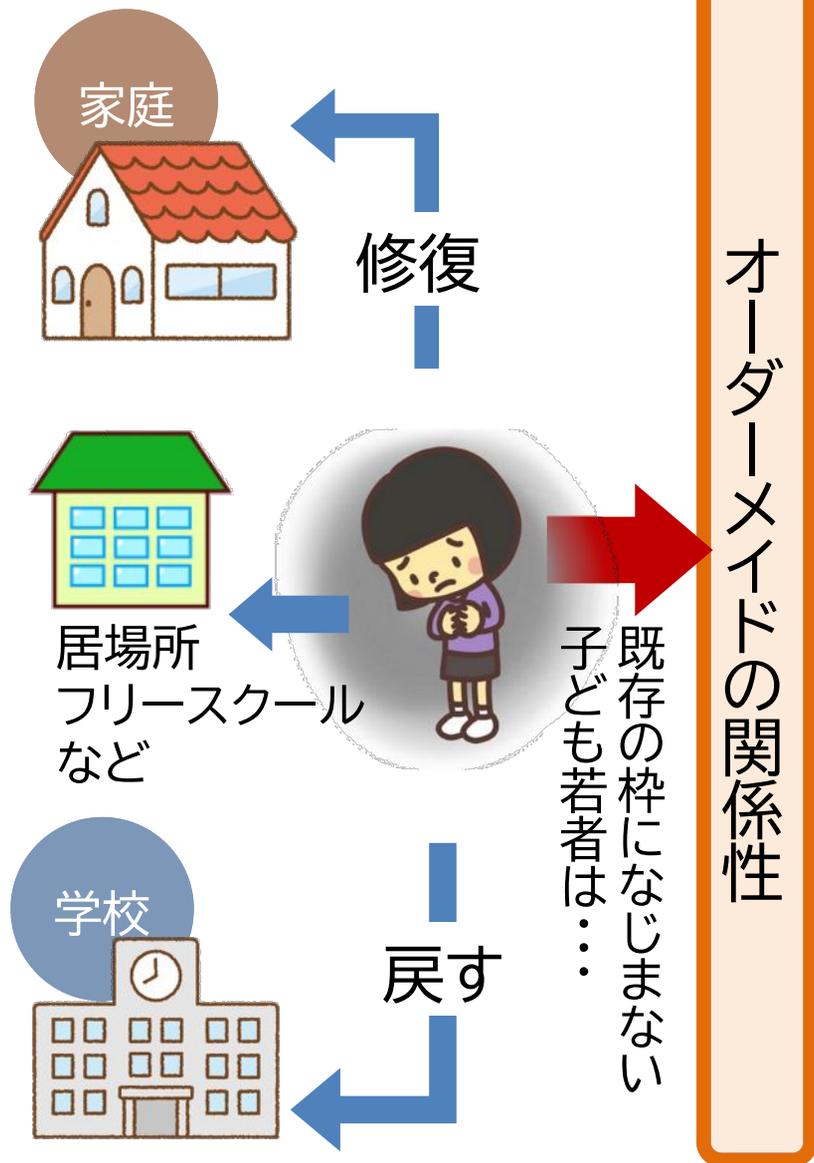
センターの取組み	キーワード	こども若者の変化
① 担当制 (各スタッフが50～80名のこども若者を担当)	最初に伴走する 手応えのある大人	不安や悩みを理解してくれる、味方がいることを知る
② よりそいサポーター (288名登録のボランティアバンク)	「親密な他者」の存在	自分の興味や関心を他者と共有(経験)できる
③ 地域資源の開拓 (分野の垣根を越えたネットワーク)	地域の優しい「見守り」	自ら他者を頼ることができる

こども若者の
他者や自分への信頼感が高まる！

アウトリーチ(訪問・同行)

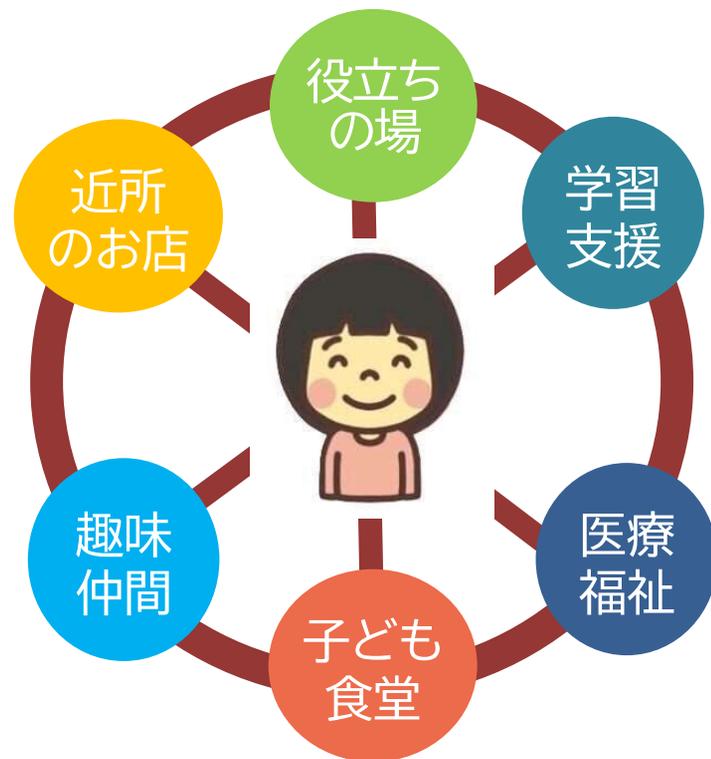
こども若者を待つのではなく、こども若者の生活圏に出向いていく

<既存の取組み>



New <名古屋市こわかセンターの特徴>

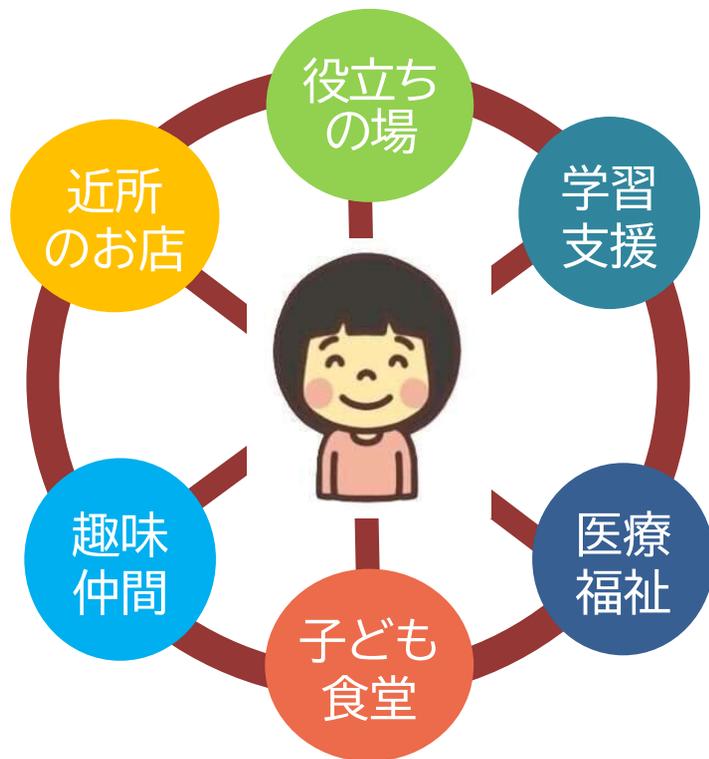
本人の安心、好きや興味を軸に
地域の優しさ・見守りをあつめる！



◆子ども若者のSOSをキャッチする

『親密な他者』との、
優しく豊かなつながりをつくる

孤立 → 「ひとりじゃなかった・・・！」 → 「これで生きていける」



オーダーメイドの関係性

新しい経験と記憶



前向きに生きていくための
学び・経験・人間関係



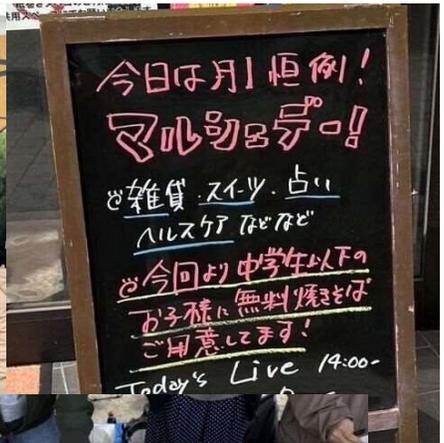
役割や
役立ち



これからの
人生を
生きていく
ための基盤

地域活動との協働と若者の役立ちの場の創出

- 毎月開かれる子ども食堂や学習支援の現場または、川の清掃など、地域のボランティア活動に参加。
- 企業での有償ボランティア
- お寺、居酒屋など、地域で開催されるお祭りやマルシェで自作の革細工、編み物や小物などの作品などを出品。自ら販売に参加した若者は、目の前で作品が売れる喜びを味わった。



12月の
まなびっこ
回した

とき・12月18日(水)
ここ 4:00 ~ 5:30 3:45 つけつけスタート

ばしょ・市宮南新開荘 集会所
まなびっこタイム & おやつタイム (予定)

前編しりとり、絵画しりとり、まなびっこ、絵をかいたり、まなびっこの創作だよ。
学校のドリルや宿題などを、もってきてね!

だんだん寒くなってきただけ、みんな元気?
クリスマスにお正月 楽しい! 12月がやってくる!
冬休みが待ち遠しいかな。
こまったことがあったら「まなびっこ」にれんらくしてね。

予定を変更することがあります。
ひらの 090-7303-0506
おといのせ
ひらのあいだは、でんわにでられないことがあります



『こどもの悩みを受け止める場に関するプロジェクトチーム』 三原じゅん子大臣との意見交換会 2024.12.23

【こどもの悩みを受け止める場に関するプロジェクトチームとは】

「こどもまんなか社会」の実現を目指し、大人目線ではなくこども目線で、悩みを抱えるこどもたちが躊躇なく悩みを打ち明けられる環境をつくっていくため、これまで以上にこどもの目線に立って、こどもや支援団体等の声を聴きつつ、こどもに関する官民の相談窓口の実態や、相談を受け止める側が留意すべき点等を把握・整理するとともに、こどもの悩みを受け止めるために有益な諸活動について、積極的・効果的に広報等していくことを目的として、2024年11月に設置。



潜在的な困りごとを抱えた 若者とつながるための 名古屋市子ども・若者総合相談センターの

3つのチャンネル



オープンスペース
MoiMoi



SNS相談



若者シェアガレージ

「虐待・貧困により孤立し様々な困難に直面する学生等へのアウトリーチ支援」

CHANNEL 1 オープンスペース *MoiMoi*

相談につながりにくい子ども・若者に対して、
早期にアプローチすることを目的としています

メインターゲットは

「福祉」や「相談」に拒否感のある若者

自身の違和感が相談に値すると感じていない若者

目標や目的に向かう中で、誰かの力を必要とする若者



名古屋市子ども・若者総合相談センター

LINE相談できます

嬉しかったこと、つらい気持ち。
ちょっとしたことでも
気軽にお話ししてください

家族のこと
さみしい
仕事のこと
勉強のこと
友だちのこと
学校のこと

ID: @cowaka758.line

相談できる方
15歳から39歳の
名古屋市在住の方とその保護者
名古屋市内の高校に在学中の方

実施時間
月曜日から土曜日の
17:30-21:30(受付は21:00まで)
※祝日・年末年始を除く

友だち追加





若者シェアガレージ

孤立・生活困窮や心身の不調等様々な困難に直面している、またはそのおそれのある若者を把握し、企業や団体からの寄付等による生活支援物資を様々な方法で提供しながら必要な相談支援先へつなげる

企業・団体

寄付・寄贈

名古屋市
子ども・若者
総合相談センター

困窮支援
コーディネーター

大学等 教育機関

- 物資の出張配布等を通しての広報活動と対象者の把握
- キャリアセンターや学生相談等との連携による対象者の把握

シェアガレージ
食料や物資のストック拠点



- アウトリーチによる提供



- 拠点(ガレージ)での個別対応による食料や物資の提供
- 困りごとに対して継続的な相談を実施
- 利用する若者にお手伝いや協働のプロジェクトを依頼

ストックサテライト
民間団体

女性
支援

非行
防止

児童
養護

お寺

- テーマ型の拠点にも物資を置いていただき、連携

シェアガレージ(大曽根) 食料や物資のストック拠点



商品に値段を表示



4大学で配布会を実施 1020人の学生に食料・物資を手渡す



名古屋市中区
子ども・若者総合相談センター
名古屋立大学
谷口ゼミ & こわか 合同企画
物資配布会
令和7年1月16日 木 12:10~
※物資なくなり次第終了

名古屋立大学 滝子キャンパス
1号館1階 ピロティ付近

こわかとは
名古屋子ども・若者総合相談センターのごことです
名古屋市内在住・在学のおおむね39歳までの方ならどなたでもご利用できます

スープやノート等を配布しています！
ぜひ寄ってみてください！

名古屋立大学人文社会学部石田希子研究室
名古屋子ども・若者総合相談センター
問い合わせ先 ☎052-961-2544
✉ kikoi@cosaka.net

【配布実績】

◆若者シェアガレージ

18名(実数) 延べ29件

◆デリバリー **2名**

◆ストックサテライト**4件 延べ191名**

◆こわかセンター**15名(実数)**

延べ配布数／**51件**

合計 延べ273名に物資を提供

◆配布会 協力大学**4校**

1020名の学生に配布



【相談につながった実績】

◆若者シェアガレージから**1件**

◆デリバリーから**1件**

◆配布会の現場で**2件**

◆ストックサテライトで**3件**

【寄付協力】

企業・団体17社、個人の方19名

* パスタ、パスタソース、パックごはん、スープ、果物、味噌、ジュースなどの**食料品**

* ペン、ノートなどの**文房具**

* 自転車のチェーンロック、生理用品、ラップ、ティッシュペーパー、トイレトペーパー、タオル、洗剤、使い捨てカイロ、マスク

などの**生活用品**

* **購入費(現金)** / 女の子セット、食料品セット



若者シェアガレージの利用者の事例

● パートナーが病気になり失業したという、自身も精神疾患のある20歳女性

➡ こわかセンターの個別相談へ

● 姉妹で生活しているが、お米が高く買うことができない。生活が苦しい、という19歳大学生

➡ 引き続き若者シェアガレージを利用

● 大学院の研究で忙しくアルバイトができない。実家に頼ることもできない。就職が決まっても、初月給をもらうまでの生活はどうしたら良いか？という24歳大学院生。

➡ 引き続き若者シェアガレージを利用

● 障害のある弟とふたり暮らしで、ケアをしている21歳大学生

➡ ヤングケアラー支援事業へ

● アルバイト収入だけで安定した生活ができない。将来が不安。正社員になりたい。就労について相談がしたいという22歳。

➡ 就労支援に関する情報提供

寄付を頂いた企業様と 若者との交流も！



今年度の若者シェアガレージの取り組み

【シェアガレージ（大曽根）】

- ◇利用の仕組み／週3日予約制
＋予約不要の解放日を作る
- ◇1回当たり4,000円分まで
- ◇役立ちの機会の提供

【広報】

- ◇学生相談室との連携強化
- ◇福祉資金利用対象者等への広報
- ◇SNSを活用した広報

【配布会】

- ◇学生寮など、対象者が多いと思われる
場所で配布会を実施。
(キッチンカー的な形で出張配布)

【寄付物資の確保】

- ◇関係企業や法人会へのアプローチなど
リンクサポートとの連携強化
- ◇若者と企業がWinWinとなる企画の推進

ご清聴ありがとうございました

名古屋市
子ども・若者
総合相談センター